

ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Report

ほくほくレポート 2010

ほくほくFGの環境への取り組み

ずっと伝えたい
風景があります。

地域貢献

賑わいづくりで街に元気を!
クラシック音楽で潤いを
次世代に向けた金融教育

支店のある町

越中八尾 / 札幌

駐在員レポート

London



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

02 環境への取り組み

ずっと伝えたい風景があります。

03 道銀「フォレスト運動」

毎年1haの土地に 約2,000本を植樹

05 地域貢献

賑わいづくりで街に元気を!

てるてる亭ほくほく通り〈富山市中央通り〉

07 クラシック音楽で潤いを

ライラックコンサート

道民のみなさまを毎年ご招待

チャリティ演奏会

北海道銀行合唱団など4合唱団の競演

09 次世代に向けた金融教育

ほくぎんマネジメントスクール

次世代経営者養成講座

インターンシップ・職場体験学習

地域の学生を対象に銀行業務の体験を

11 支店のある町

越中「八尾」●北陸銀行八尾支店
風情あふれる「おわら風の盆」の町
伝統的な町並みに調和

13 札幌市●北海道銀行本店営業部
緑豊かな北の大都市
数多くの芸術文化が息づく街並み

15 駐在員レポート

London

(北陸銀行ロンドン駐在員事務所)

世界中の人々が集まる

金融国際都市で。

17 マネー講座

いま、考えておきたい子どもの教育費

19 ご利用いただきやすいお店づくりへ

便利をお届けできる拠点づくりをめざして

20 お客さまからの声

21 PICK UP NEWS

お客さまにいつも寄りそうサービスを。

25 中期経営計画

27 業績ハイライト

29 企業概要

30 店舗ネットワーク



取締役社長
高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長
堰 八 義博
(北海道銀行 頭取)

平成二十二年七月

皆様には、北陸銀行、北海道銀行をはじめほくほくフィナンシャルグループをお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

私どもは、地域に根ざした金融機関として、地域社会とお客さまとともに発展することを目指しております。この冊子では、私どもの環境への取り組みや地域活性化に向けた活動をご紹介します。

この冊子を通じて当社グループへのご理解を深めていただければ幸いです。今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ほくほくレポート 発刊に寄せて



白山への道 【石川県白山市】



黒部夏 【富山県黒部市】

版画 / 谷内 正遠 氏

ずっと伝えたい 風景があります。

ほくほくFGの環境への取り組み

北陸・北海道という豊かな自然に恵まれた地域。
ここを営業の拠点としている私たち
ほくほくフィナンシャルグループは、
事業活動や環境保全活動など
さまざまな活動を通じて環境の維持・保全への
取り組みを行っております。



北陸銀行のカレンダーや封筒の原画にもなっており、平成21年から2年連続で全国カレンダー展に入選。



北海道美瑛 【北海道美瑛町】



東尋坊・夕やけ 【福井県三国町】



次世代のための森づくり

毎年1haの土地に約2,000本を植樹

平成21年7月31日、北海道と「水源の森づくり」に関する覚書を締結。

平成20年から開始された事業スキームを活用し、

「道民の森」の神居尻地区に毎年1ヘクタールに2,000本ずつ
5年間で10,000本を植樹していきます。



道銀 — 「フォレスト運動」



道銀 フォレスト運動 スタート

北海道銀行では環境対応プロジェクトチームを立ち上げ、「環境理念」、「環境行動方針」を制定しました。

豊かな自然に恵まれた北海道を営業基盤とする企業として、笑顔あふれる未来のためにこの恵みを次の世代へ引き継いでいくことを目的とし、より多くの職員が森づくりにかかわることをコンセプトとした「道銀フォレスト運動」をスタートさせました。

「道銀の森」創設式 第1回植樹式

平成21年9月、北海道当別町に「道銀の森」を創設し、森づくりを通じた環境保全活動を本格的に開始しました。快晴に恵まれた創設式および第1回植樹式には、北海道銀行従業員220名のほか、「北ぐにの森づくり

サークル」の方々や報道関係各社の総勢250名が参加し、ミズナラ、ヤチダモ、シラカバ、アカエゾマツなど2000本の植樹を行いました。

手作りの森づくり

植樹にあたっては、事前にかミネツコンと呼ばれる再生段ボールを使った組み立て式のポットを作るところから始まります。

札幌市内の全役職員がカミネツコンを組み立て、自分分が組み立てたカミネツコンにそれぞれの環境に対する熱い想いをメッセージとして書き込みました。

これに培養土と苗木を入れバイオブロックとして、定着を待ちます。

組み立てた人たちと植樹する人たちの気持ちが一つになり、用意されたカミネツコンが、やがて小さな森の樹木となることを願いながら、一つ一つ丁寧に植樹されました。



● 環境対応PTメンバー



事前の現地視察や測量作業、地拵え作業を行いました。



● カミネッコン作成講習会

北ぐにの森づくりサークルのサポートにより、行員のフォレストリーダー73名が苗木の支えとなる“カミネッコン”を作成。



● 全役職員で作成したカミネッコン

札幌市内の全役職員で、各自環境保全に対する“熱い想い”を込めてメッセージ入りのカミネッコンを2,500個作成。



● バイオブロック講習会

研修センターにフォレストリーダーが集結し、カミネッコンに土壌と苗木を入れた“バイオブロック”を作成。



● 事前植樹

「道銀の森」に、創設式と植樹式の準備として1,000本を植樹。



● 「道銀の森」創設式


創設を記念し、環境理念を記した看板が建てられました。



植樹には、総勢250名が参加しました。





**環境配慮をテーマに
金融商品を開発**

環境キャラクター
「えころDo」



- **道銀環境配慮型住宅ローン**
一定の条件を満たした環境配慮型の住宅を取得するお客さまに対し、住宅ローン固定金利選択型固定金利の当初金利および特約期間終了後の金利を引き下げさせていただく住宅ローンです。
- **道銀えころ資金**
「北海道グリーン・ビズ認定制度」および「さっぽろエコメンバー登録制度」に登録・認定され、環境に配慮した自主的な取り組みを行っている事業者を対象とした制度融資です。
- **エコ私募債**
一定の条件を満たしている企業を対象に、通常の私募債より発行条件を優遇した道内地銀で初となる環境私募債です。
- **どうぎん環境格付・融資**
環境に配慮した企業や自治体の取り組みに対して格付を付与させていただくサービスで、上位に格付された企業は、一定の要件を満たす融資を受ける場合、利子補給を受けることができます。

当日植樹された木の種類です。

-  【ミズナラ】
-  【ヤチダモ】
-  【シラカバ】
-  【アカエゾマツ】

これからの取り組み

道銀の森には平成22年度以降も毎年1ヘクタールに2000本のバイオブロックを使った植樹活動を行ってまいります。

また、札幌圏外においても各地方公共団体と連携しながら、森林、公園、河川、道路脇などに植樹活動を展開していきます。さらに、全国の地方銀行へこの森づくりの活動を紹介し森林保全活動の一助となるよう、情報の提供も行ってまいります。

賑わいづくりで街に元気を！

てるてる亭ほくほく通り

江戸時代の町並みを再現した
賑わい通りがオープン。

富山県、富山市と連携し、富山市中央通り商店街に北陸銀行がプロデュースしたてるてる亭ほくほく通りがオープンしました。平成20年6月にスタートした立川志の輔師匠プロデュースの演芸専用ホール「てるてる亭」は、これまでに1万7千人のお客さまを集めてきました。さらなる街なかの賑わい創出を目指し、「てるてる亭」の1階に立川志の輔師匠の落語が鑑賞できるミニシアターや北陸新幹線や路面電車「セントラム」などが走る近未来の富山市のジオラマなどを備えた複合施設「ほくほく通り」を開設しました。

トレット富山

てるてる亭 ほくほく通り

日頃のちょっとした気になる健康の悩みに、月一回、「赤ひげ先生」が無料でアドバイス。八尾総合病院の看護師による相談ブースも設置。協力／(医)藤聖会



ほくほく通り 赤ひげ健康相談所



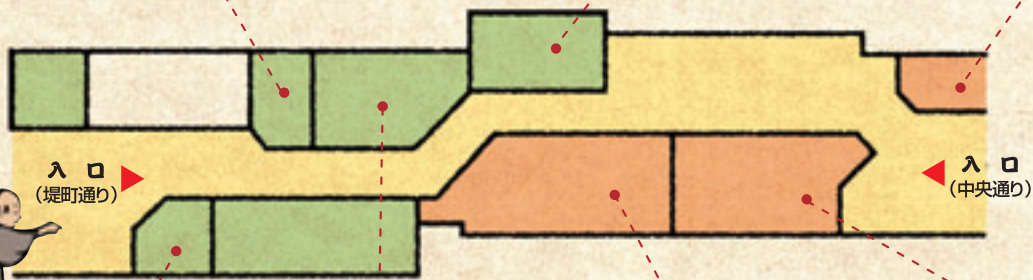
セントラムやライトレール、北陸新幹線の鉄道模型が走る近未来の富山市をモデルとしたジオラマコーナー。

越中からくり処

本やCDなどの志の輔グッズや、てるてる亭弁当などの限定商品、ライトレールグッズなど、富山の魅力がより身近に感じられる商品を販売。



ほくほく通り 祭市祭座



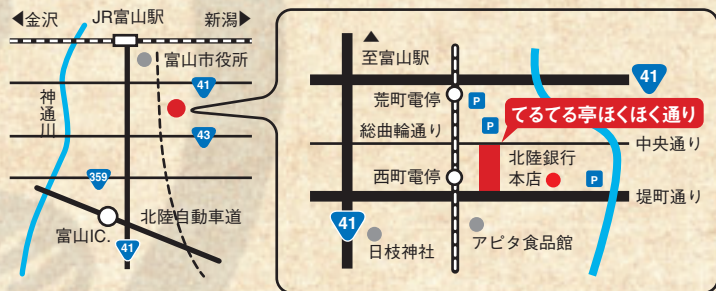
野菜アウトレット富山
元気は毎日の食から。最近話題の「規格外野菜」をはじめ、スーパーでは手に入りにくい県産野菜、さらには工場生産の無農薬野菜を販売。
営業は午前10時から午後3時まで
(水曜、日曜定休)

富山地酒ミュージアム
名水の地、富山の地酒を紹介するコーナー。県内の酒造会社の新製品をいち早くご案内いたします。

茶店で一休み お休み処
ショッピングや街歩きのお休みに、ほっと息つける茶屋風の休憩スペース。また、多目的空間として、商店街のイベントやバザールなどのフリーマーケットも開催。街の賑わいをご堪能いただけます。

ほくほく通り てるてる亭
てるてる亭で上演された「志の輔のこころみ」の高座を臨場感たっぷりに随時上映するミニシアター。25席のゆったり空間が魅力。

- 開館時間
通路部分 10:00~19:00
ブース部分 (毎週土曜日) 11:00~18:00 **入場無料**
- お問い合わせ先
「てるてる亭ほくほく通り」
(株)まちづくりとやま TEL:076-495-5900
<http://www.tmo-toyama.com/>
「てるてる亭」
(株)ホットスタッフ TEL:076-433-7775
<http://www.teruteru-tei.jp/>



クラシック音楽で潤いを

ライラックコンサート

チャリティ演奏会

こころの
響きあいを
たいせつに

「音」と「音」が響きあい
生まれる素晴らしい音楽。
「こころ」と「こころ」が響き
あう素敵な関係。
北海道銀行は、芸術文化活
動を通じ、お客さまと響き
あう豊かな毎日を応援して
います。

道民のみなさまを毎年ご招待

5月中旬、札幌の街にはライラックの花が咲き誇ります。毎年この季節に北海道銀行の行花でもある「ライラック」の名称がついたコンサートを開催しています。気軽に美しい音楽にふれてもらいたい、北海道の

文化を身近に感じてもらいたいとの思いから、北海道銀行の創設35周年を記念して始まった「道銀ライラックコンサート」は今年で24回目を迎えました。5月19日、札幌コンサートホールKitaraに

1900名様をご招待し、道銀文化財団の「第19回道銀芸術文化奨励賞」を受賞されたチェロの石川祐支さんと札幌交響楽団によるクラシックの競演をお楽しみいただきました。

北海道銀行合唱団など 4合唱団の競演

5月8日、「道銀チャリティ演奏会2010」を平成20年2月に続き開催しました。この演奏会は、社会貢献活動の一環として、普段コンサートに足を運ぶ機会の少ない方々にも合唱を楽しんでいただくとともに、合唱を通じて北海道の芸術文化向上に寄与することを目的として企画しました。本演奏会では、福祉関係施設入所者の方々を無料ご招待し、一般入場

者の入場料は北海道社会福祉協議会に寄付しました。

今回は、この趣旨にご賛同いただいた「ヴォーチェ」「コールトラウベ」「男声合唱団 ススキノ」と「北海道銀行合唱団」を加えた4団体が美しいハーモニーを披露し、4団体の合同合唱では会場のお客さまと一緒に「歌う」場面もあり、会場一体となった心地よいひとときをお過ごしいただきました。



北海道社会福祉協議会様より「感謝状」をいただきました。

Classic Concert



チャリティ演奏会



ライラックコンサート



次世代に向けた金融教育

ほくぎんマネジメントスクール

次世代経営者養成講座



インターンシップ・職場体験学習

経営を学ぶだけでなく人脈づくりの場として

北陸銀行



「次世代経営者養成講座」受講風景



最終講座、海外進出企業の視察(上海にて)

北陸銀行の創業130周年を記念し、平成19年に次代の経営を担うマネジメント層向けのほくほくマネジメンツスクール「次世代経営者養成講座」を開講しました。講師陣はすべて北陸銀行役職員で、海外の経営大学院で修得した「MBA経営理論」と、北陸銀行が永年顧客取引の実務の中で蓄積してきた「経営実務に関するノウハウ」を融合した企業経営のあり方を

考える経営基礎講座としてしています。昨年10月開講の養成講座から、経営課題解決に関するケーススタディーによる討議メソッドを取り入れました。最終講座の「海外進出企業視察」では、中国もしくは東南アジア地域に進出している日系企業を訪問し、現地企業の実態や日本人管理者の苦労などを直接聞くことで今後の経営に役立つ海外研修となっています。

地域の学生を対象に銀行業務の体験を

北海道銀行



パーソナル支店の「コンサルティングルーム」で資金運用について説明を受けていただきました。

北海道銀行では、学生を対象としたインターシップ・職場体験学習や地元大学における金融関連講座への講師派遣等をCSRの二環と捉え、積極的に開催しています。

北海道銀行では、学生を体験学習している講義などを体験学習していただき、金融業務の現場を肌で感じてもらっています。また、行員と共に昼食を囲み、自身の志望動機や就職までのプロセスなどを話し、将来を模索する学生の後押しをしています。学生の皆さんに北海道銀行の行風・銀行業務の魅力などを実感していただきながら、「地域貢献」「金融教育」を実践しています。

支店のある町

越中「八尾」／北陸銀行八尾支店

哀調帯びた音色で
満たされる

「おわら
風の盆」の町

二百十日の風が吹くと、八尾の町はおわら一色に染まります。

格子戸の旅籠宿、土蔵、造り酒屋が軒を並べる静かな坂の町にほんばりのあかりが灯る頃になると、どこからともなく三味線、胡弓、太鼓の音、それに合わせて哀調を帯びた唄声の流れ始めると、各町内で一斉に町流しがはじまります。

九月一日から三日間、おわらに寄せる八尾の人々の思いはこの日に熱く燃え上がります。



北陸銀行 八尾支店

北陸銀行八尾支店は、明治三十六年に営業開始、今年百七十年目を迎える歴史ある支店です。平成二十年八月、伝統的な町並みを再現しようとする「八尾地区まちづくり修景等整備事業」に賛同し、おわらの町八尾の風情ある町並みに溶け込む外観に改装しました。白漆喰の外壁、富山県産の杉による下見板や格子戸を取り付けるなど八尾の町屋風の建物となっています。

伝統的な
町並みに調和





歴史を感じさせる町並み



加賀藩の名工の作が散りばめられた八尾曳山

歴史と 伝統文化の町

八尾町は、江戸時代前期、寛永十三年（1636年）に加賀前田公からお墨付を受け開町し、四百年近い歴史を持ちます。富山市南部に位置し、飛騨山地と富山平野が接する交通の要にあり、養蚕や和紙などの商いで富を蓄積し「富山藩の御納戸」とまで呼ばれたほど大いに

栄えました。その財力が育んだ独特の町人文化が「おわら風の盆」であり、「曳山祭」なのです。

華麗な絵巻物 「八尾曳山祭」

毎年五月三日に行われる「越中八尾曳山祭」。二百七十年の歴史を有する曳山の装飾には井波の彫刻、高岡の彫金、城端の漆工など加賀藩の名工の作が惜しげもなく散りばめられ、

豪華絢爛の二言に尽きます。三味線、笛、太鼓の奏でる古式ゆかしい典雅な曳山囃子につれ、凛々しい若者達がそろうの法被姿で曳く六本の曳山。夜ともなれば、千余のあかりが灯る提灯山となり、幻想的な美しさで夜の更けるまで人々を魅了します。

石垣の町並み

八尾の土蔵造りや格子戸のあるたたずまいは長い歴史の重みを感じさせます。日本の道百選に選ばれた、諏訪町本通りは石畳に格子戸の家並みが美しくマッチして、落ち着いた情緒を醸し出しています。町のシンボルである石垣もあちらこちらで観られ、八尾独特の風情を感じさせてくれます。



石垣のある町並み

写真協力: 茗ヶ原 達之氏、越中八尾観光協会

支店のある町

札幌市／北海道銀行本店営業部

創業以来、北海道の 芸術文化に寄与

画家、彫刻家との ふれあい

昭和27年、北海道銀行初代頭取島本融は有島武郎の小説「生まれ出づる悩み」の主人公のモデルとして有名な木田金次郎画伯に初めて出合い、その作品の素晴らしさと純朴な人柄に大いに興味を持ち、支援をしていました。このほか、洋画家山田義夫、版画家北岡文雄などの作品もカレンダーなどのPR用品や本店、主要支店のウインドウパネルの掲示企画などに採用され、広く道内外に紹介されました。

レリーフ「大地」の一部分

札幌交響楽団への 賛助

昭和36年3月、北海道銀行創立10周年を記念して楽器購入資金を寄付したのが最初でした。この寄付が他企業の協賛を得る糸口にもなり、札幌交響楽団の誕生は、一気に現実のものとなりました。現在でも特別会員として楽団の維持に微力を尽くしています。



北海道銀行 本店





▲重要文化財指定「豊平館」

整然とした街の中心を通る▶
大通公園



世界的に知られる観光都市

「蝦夷地」と呼ばれていた未開の地域が「北海道」と命名されたのは、明治政府により開拓史が設置された明治2年でした。初代開拓判官島義勇の街づくり構想に基づき「広場の北側に3百間四方の本府庁舎を配置しその並びに官庁街を築く。広場の南側には住宅街、商店街を築き、街は基盤の目のような整然とした造成を行う。」ことが提唱されました。

その札幌の中心部に幅約65m、東西1.5kmに延びる緑地帯があります。雪まつり会場にもなっていることから、全国的に知られるようになった「大通公園」です。昭和47年の札幌オリンピック開催を機に世界的な観光都市となり、現在では国内で5番目の大都市に成長しました。また国の重要文化財に指定されている「豊平館」、「北海道庁旧本庁舎(通称赤レンガ)」など数多くの文化財や史跡のある街でもあります。

隠れた美術館として

昭和39年新築の北海道銀行本店営業部は、1・2階吹き抜け部分の壁面を三方が総ガラス張りとなっています。二面は強固な壁にしましたが、この壁の上部(2階部分)の装飾としてレリーフ「大地」が施工されました。長さ41メートルの長大なレリーフは、北海道の産業を歌い上げ、「北海道の産業育成こそ社会使命である」という意気込みを表現しています。その規模と素材、北海道ゆかりの著名な彫刻家3名の協同制作という手法など、いずれもユニークなもので、ガラス越しに外部からも見通せる、隠れたアートとして、札幌市民の目を楽しませていきます。



本店にある「ライラックの像」▶

◀長さ41メートルのレリーフ「大地」をバックにロビーコンサートを開催しました。



●北海道銀行本店のレリーフ「大地」と彫刻「ライラックの像」の概要

名称	大地	1. 昭和39年8月、本店ビル新築開店時に設置されました。アートとしての役割のほか、ステンレス・アルミ・ガラス・大理石などに囲まれた営業室にあって、彫刻の凹凸面が音声の反響を、暖色系の色調が建材の冷たさをそれぞれ和らげる役割も果たしています。	2. 構想から構図の決定までに5・6ヶ月を要した後、佐藤氏が10分の1に縮小した下絵を作成、粘土彫刻の協同作業はこれを基にして本郷氏のアトリエで行われました。レリーフは規模と重量を考慮して、約1メートル四方のポリエステル樹脂板93枚に分割して仕上げたもので、重量は銅の約13分の1と軽量ながら、ブロンズそのままの堅さと質感を持っています。
制作者	本郷新氏 山内壮夫氏 佐藤忠良氏		
名称	ライラックの像	1. 昭和39年8月本店ビル新築開店時に、札幌市内合同道会和(現札幌合同らっく会)より寄贈されました。	2. 制作者の本郷氏は、レリーフ「大地」の制作者のひとりでもあります。
制作者	本郷新氏		



「アジア、北米、欧州にまたがる 24時間グローバルネットワークの実現へ」

レポート：ロンドン駐在員事務所長

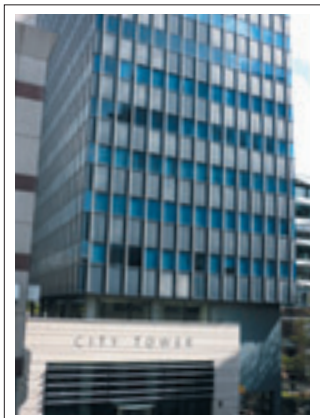
東 司 郎



ロンドン駐在員事務所（北陸銀行）

世界各地から金融機関が集まり様々な最新の金融情報が飛び交う国際金融センター、ロンドン。その中心であるシティ地区に2009年9月23日、欧州拠点として約11年振りに、ロンドン駐在員事務所を開設しました。これにより、アジア、北米、欧州にまたがる24時間グローバルネットワークが整備されました。

情報のグローバル化により日本においても欧州の情報は入りますが、ロンドンに拠点を持つからこそできる「フェーストゥフェースでの取引先支援」と「欧州での生きた金融情報提供」を行っています。



ロンドン駐在員事務所が入居する「City Tower」



Bank of England



(上) 伝統と革新の街、金融国際都市「City」
(下) セントポール寺院

世界中の人々が集まる 金融国際都市で。

北陸銀行◎ロンドン駐在員事務所

Level 12, City Tower, 40 Basinghall Street,
London EC2V 5DE UK
TEL 44-20-7374-6028 FAX 44-20-7374-6055



経済のグローバル化の進展により、ここ欧州にも数多くのお取引先が進出されています。言葉は勿論、文化、風習の異なる異国の地でさまざまな難題に取り組みお困りのお客さまの熱い思いを受け止め、同じ目線で問題解決に向けてサポートしております。

金融情報が飛び交うシティにあるため、お客さまにはシティで得た貴重な金融情報をお届けしています。一方、片道3時間をかけて地元からの進出先を訪問し経営上の悩みを共有したり、派遣駐在員の方々より地元における住宅ローンの相談を受けるなど、大手金融機関とは一味違う、地域金融機関ならではの細かなニーズへの取り組みにも注力しています。

フェーストウフェース による グローバルな活動

当事務所は世界最新の



ロンドン駐在員事務所メンバー

成熟したと考えられている欧州市場ですが、日本製品に対する信頼度は絶大ですし、更に日本文化に対する憧れも根強く残り、まだまだビジネスチャンスはあります。ビジネスマッチングをはじめ海外進出のお手伝いや、現地情報の提供などにより、当グループの地元と欧州とを結ぶ「懸け橋」として、今後も活動してまいります。

「懸け橋」として 地元と欧州を結ぶ

「グローバルな視点を持ちながら、フェーストウフェースで、心のこもったきめ細やかな活動を行える」そんな事務所であり続けます。

いま、考えておきたい子どもの教育費

「子ども手当」の支給、「公立高校の授業料無償化」など、家計にうれしい政策がスタートしています。
 どうためるか？ どう使うか？ 将来にそなえ、この機会にしっかり考えておきたいですね。



子ども手当の給付、ありがたいけど、何にどう割り当てようかしら？

どれだけかかる？ 教育費

下の表は、高校の授業料を含んだ学習費です。高校の授業料にかかる国からの補助は、年間で約12万円。一方、4割近い高校生が学習塾に通い、年間約20～30万円の塾代を親が負担しているとの統計もあり、学校以外での学習費用は膨れていきます。すべて公立の学校に進学しても、大学卒業までには、約560万円の教育費が必要となります。

平成22年4月からスタートした「子ども手当」。また、公立高校の授業料実質無償化となり、子育て支援に向けての国の施策がスタートしました。しかし、これからの子どもにかかる教育費を考えると、これで十分といえるでしょうか？

● 大学卒業までにかかる平均的な教育費

	学習費等(※1)総額		大学(※2)	合計(※3)
	中学校	高校		
すべて公立(大学は国立)の場合	1,443,927円	1,545,853円	2,579,200円	556万円
すべて私立の場合	3,709,312円	2,929,077円	5,352,000円	1,199万円

中学校・高校については、※文部科学省「平成20年度子どもの学習費調査」より作成。それぞれかかる年額に、3年間を掛けています。大学については、独立行政法人日本学生支援機構「平成20年度学生生活調査報告」より作成。(※1)「学習費等」には授業料などの学校教育費や学校給食費、学校外活動費が含まれる。(※2)授業料その他の学校納付金や通学費等などが含まれる。(※3)中学・高校・大学までのそれぞれの学費を合計し、千円以下を四捨五入。

子どもの教育費準備のために今からしておきたいこと

教育費は、「今」必要なものと「将来」必要なものとの両面から検討することが大切です。
 教育費を賄うための収入も今と将来では、変わってきます。今の教育費を今の収入で賄うことができても、将来どのくらい教育費にかけるかある程度決めておくことが必要です。その目安となるのが進学コース別の学習費総額です。次に、子どもに受けさせた教育の方針を決め、その教育にかかる費用の目安が決まったら、そのための準備が必要になります。
 具体的には、教育費総額から1ヶ月当たりの教育のための準備資金の目安を算出します。
 例えば、小学校に入学した子どもが公立の高校入学から大学卒業までに約412万円必要で、この教育費用を「今」から準備しておくためには、412万円を108ヶ月(9年×12ヶ月)で割り、1ヶ月当たりの積立金額で計算すると、



およそ3.8万円(年間46万円)になります。これが、「将来」に必要な子どもの教育費準備のため毎月準備しなければならぬ金額の目安になります。公立であれば幼稚園や小学校など学年の低い頃は、年間46万円という教育費はかからないでしょう。そこで、実際にかかった金額と必要な毎月の準備資金との差額は、「将来」の教育費のためにしつかり貯蓄しておきます。もし、毎月の必要積立金を捻出できない場合は、積立金の運用利回りを高めるため、一部は投資信託での積立も検討したいところです。

また、北陸銀行・北海道銀行が扱う学資保険を利用することも検討していきましょう。学資保険の中には、特約を付けることで、万一の場合に、保険料の払込が不要となる保険もありますので、貯蓄と併せて教育資金準備に役立ててることができます。

もっと頼れる教育ローン

高校に入ってから準備を始めても、貯められる金額には限界があ

ります。また、予定より学費のかかる学校に進学することになったなど、事前の準備が間に合わなかった場合は、まず、「奨学金制度」が利用できるか検討します。事情あつて奨学金制度が利用できない場合は、「教育ローン」を活用することもいいでしょう。教育ローン商品には、子どもの在学中は、利息のみを支払い、卒業のあとに余裕を持って元本を返済できるものもあります。子どもの「将来」に必要な学費をすぐに準備できる教育ローンは、いざというとき頼りになると思います。



吉村 茂樹
北陸銀行
金融サービス室
ファイナンシャルプランナー
(CFP® 認定者)

**ほくほくFGグループの
商品・サービス**

お子さまの成長に合わせ、
多数の商品・サービスをご用意しております。

コツコツ準備

- 定期預金
- 貯蓄預金

まとまった資金の積み立てにピッタリな積立定期預金、キャッシュカードで出し入れ自由な貯蓄預金など目的に応じた商品をご用意しております。

貯める

**教育資金の準備や
万が一の時の保障に**

- 学資保険

お子さまの入学や進学に合わせて学資祝い金や満期保険金が受け取れる商品。ご契約者が死亡・高度障害になられたときの保障に加え、教育資金の準備に役立てられます。

そなえる

商品・サービスに関しては、お近くの支店か以下の番号にお気軽にお問い合わせください。

北陸銀行

- ローンに関するお問い合わせ
TEL: 0120-688-969
- 商品に関するお問い合わせ
TEL: 0120-010-985
(受付 平日9:00~17:00)

北海道銀行

- ローンに関するお問い合わせ
TEL: 0120-520-116
- 商品に関するお問い合わせ
TEL: 011-231-4706
(受付 平日9:00~17:00)

いざという時の強い味方

- 教育・学資ローン

お子さまの入学金、授業料、海外留学など広くご利用いただくことができ、お子さまのキャンパスライフを応援します。

借りる

ゆったりと落ち着いた 相談ができる空間づくり

パーソナルラウンジ

●北海道銀行

落ち着いた雰囲気スペースで、資産運用相談専門の行員がお客さまのプランに合わせたご相談を承っております。



平成21年12月、個人のお客さまの資産運用拠点として、本店営業部内に新設されました。



円滑な意思疎通に

コミュニケーションボードの設置

●北陸銀行 ●北海道銀行

外国人のお客さまや聴覚などに不自由のあるお客さまと円滑に意思疎通が図れるよう、コミュニケーションボードを導入しております。



ご利用いただきやすい お店づくりへ

お客さまの暮らしに、
便利をお届けできる
拠点づくりを目指しています。

小さなお子さま連れでも 安心してご来店できるお店へ

キッズルームの設置

●北陸銀行

「人と環境にやさしく便利な」をコンセプトとした店づくりを心がけております。

店舗の新設や改築時には、小さなお子さま連れでも安心してご来店できるようキッズコーナーを設けております。

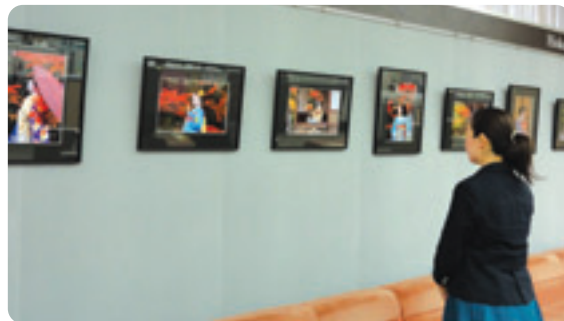


ご好評をいただいております。

ロビー展の開催

●北陸銀行 ●北海道銀行

日頃ご利用いただいている地域のみなさまに感謝の気持ちを表したいと、「人の集う場所」として店舗内のロビースペースを作品発表の場として提供しております。





お客さまからいただいた声を一部ご紹介いたします

おもてなしの心でお客さまをお迎え

いつも感心しています。

北陸銀行では、ご来店されたお客さまが待ち時間を楽しく過ごせるよう、地域の歴史・文化・観光等の紹介、地域検定の問題、お客さまの切り絵や絵手紙作品の紹介など、支店ごとに知恵を絞った合札を作成しています。

お客さまからは地元の歴史や文化を改めて知ることができて楽しいと好評をいただいています。



家紋や提灯の図案で作成した合札
(浅草支店作成)



「切り絵の会」催しの紹介やクイズを掲載した合札(月岡出張所作成)

CS向上活動を強化しています!!

窓口での親切な対応が気持ちいいですね。

北海道銀行は平成16年から全行的なCS向上活動として「どさんこバンク運動」を展開しています。

この運動では“最高の笑顔”“最善の努力”“最適な提案”を合言葉に接客対応の改善・向上に全職員一丸となって取り組んでおり、その一環として、

ビデオを活用した窓口対応チェックを行っています。録画した映像は全店で共有し、今後の課題や取り組みについて話し合いを行い、具体的な改善に繋げています。今後もお客さまにご満足いただけるようCS向上活動を強化していきます。



「どさんこバンク運動」座談会風景

ご意見はこちらへ。 —お客さまの声受付体制—

【ご意見ポスト】



店頭に備えており、ご意見やご要望をお寄せいただいております。

【お客さまアンケート】



より一層ご満足いただけるサービスを提供できるよう実施しております。

【インターネット】



●北陸銀行
<http://www.hokugin.co.jp/>
●北海道銀行
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

【お電話】



北陸銀行お客さま相談室
0120-010-985
北海道銀行お客様相談室
0120-910-444

2009.7 → 2010.4



お客さまに
いつも寄りそう
サービスを。

お客さまの
身近に広がる
ネットワークの充実や、
付加価値の高い
サービスの情報などを
ピックアップして
ご紹介します。

■ほくほくFG
2009.7

「ものづくり商談会
@上海(2009SUMMER)」の開催

7月16日、上海市の上海世貿商
城において、ものづくり商談
会@上海(2009SUMMER)
を北陸銀行と北海道銀行が、大垣
共立銀行など地方銀行11行合同で
開催しました。
この商談会は製造業に特化し、
中国での部品調達や委託加工先を
探す目的で開催したもので、総来場
者2500名、商談数3000件
と活発な商談が行われました。



■北海道銀行
2009.7

地域力連携拠点事業「農業セミナー」開催

業・酪農者の今後の戦略や
販路拡大のお手伝いとなる
よう、平成21年7月22日から24日の
3日間、酪農地区である中標津・別
海地区において、現地商談会を実施
しました。
首都圏の百貨店・スーパーのバイ
ヤーや道内の食品加工・外食産業の
仕入担当者をお招きし、生産者側の
農作物に対するこだわりや作り方
を直接確認していただきました。



■ほくほくFG
2009.11

「大連」地方銀行合同ビジネス商談会」の開催



北 陸銀行と北海道銀行は、11月23日中国の大連市（北陸銀行が経済交流協定を締結）において、地方銀行11行と大連市人民政府と合同で「大連」地方銀行合同ビジネス商談会」を開催しました。
昨年続き2回目の開催で、他の地方銀行と合同での取り組みは初めての試みです。参加地銀のお取引先85社が、中国企業130社と延べ850件の商談が行われました。

■北陸銀行
2009.11

「もりの里支店」新築オープン

金 沢市もりの里に、17年ぶりとなる支店をオープンいたしました。
LED看板、太陽光パネルの設置、そして石川県の県木「アテの木」の間伐材を店舗全面に使用するなど環境にやさしい店舗となっています。



店舗の照明にLEDを採用



石川県の県木「アテの木」の間伐材を使用したスロープ
太陽光パネルを設置

■北陸銀行
2009.11

環境評価融資の取扱開始



北陸コカ・コーラボトリングの製造ライン

環 境に配慮した企業経営を支援するために、中堅・中小企業の取り組みを評価し、融資条件を優遇する「環境評価融資」の取り扱いを開始しました。
今年3月には、最高のSランクに取り組みを評価した北陸コカ・コーラボトリング様へ第1号の融資を行いました。4月1日からは、北陸で初めて環境省が新設の「地球温暖化対策加速化支援無利子融資制度」の取り扱いも開始しました。

■北海道銀行
2009.11

ロシア極東地区への
ビジネス支援展開

平 成21年3月、ロシア極東地区において唯一の邦銀の拠点を開設しました。取引先企業のロシア極東地区への関心の高まりを受け、10月には64先80名のミッション団を引率し、「ロシア極東ビジネス交流会 in サハリン」を実施しました。
また、11月にハバロフスク市と、今年2月にはサハリン州政府と経済協力協定を締結しており、ロシア極東地区の活きた情報を提供し、ロシアビジネスの支援を展開していきます。



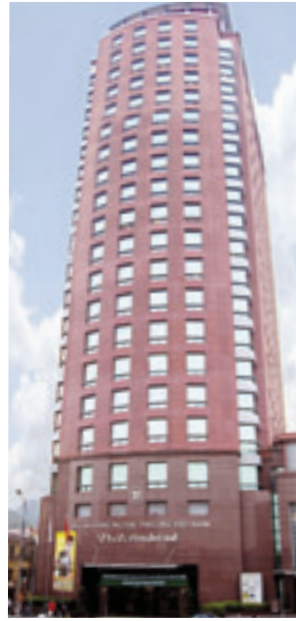
サハリン州経済協力協定調印式 ▲

ハバロフスク市経済協力協定調印式 ▶



■北陸銀行
2009.12

ベトナム銀行と業務協力協定締結



ベトナム銀行本店

ベトナム最大の銀行「ベトナム銀行」と業務協力に関する覚書を締結し、お取引先企業のベトナム進出へのサポート体制の充実を図っております。

ベトナム進出へのサポート体制を強化しました。また、中国・無錫市(対外貿易経済合作局)とも経済交流に関する覚書を交わし、中国・ASEAN地域への海外進出サポート体制の充実を図っております。

■北陸銀行
2009.12

タイでカシコン銀行との共同ビジネスマッチング実施



業

務提携先であるタイの大手商業銀行「カシコン銀行」と共同ビジネスマッチングをバンコクの同行本店で実施しました。

タイに進出している北陸銀行と八十二銀行のお取引先に現地の供給メーカーを紹介するのが狙いで、バンコクでの商談会は地方銀行で初めての開催となりました。日本からは両行のお取引先11社が、カシコン銀行が選定した地元企業36社と49件の商談を行いました。参加企業を対象としたビジネスセミナーも開催されました。

■北海道銀行
2009.12

「宮の森パーソナル支店」新規開店

個人のお客さまのニーズにお応えするべく、個人取引専門店としては3店舗目となる「宮の森パーソナル支店」を開店しました。

「パーソナル支店」は「個人のお客さまがよりご来店にご相談いただきやすい店舗」を基本コンセプトとしております。店内には落ち着いた雰囲気、資産運用、住宅ローン等をご相談いただける「個室のご相談ブース」を設置しているほか、全自動貸金庫の設置、休日の相談営業実施など、魅力ある店舗づくりを目指しております。



ウェイトニングスペース

■北海道銀行
2010.1

台湾ATM・SmartPayサービス開始

1月27日、北海道銀行と道銀カードは台湾の大手銀行9行と提携し、台湾で発行されたキャッシュカードによる専用ATMでの現金引き出し、および同カードを利用した専用端末でのデビットカードサービスを、国内で初めて開始しました。



開始記念パーティーは高橋北海道知事、上田札幌市長にもご出席いただき、盛大に執り行われました。

来道外国人の3割以上を占める台湾観光客に対して、国内初の金融サービスを提供することで、観光立国・北海道の活性化にお役に立ちたいと考えております。



■北陸銀行
2010.4

中小企業応援ネットワーク開所

3月8日から5月31日に「北海道日本ハムファイターズ応援キャンペーン」を実施しました。新たに普通預金口座を開設し、給与振込をご指定いただいたお客さまに「フアイトースキャッシュカード」を発行するほか、「道銀カード申込者にもれなく「オリジナルフアイトースグッズ」をプレゼントするキャンペーンで、大変ご好評をいただきました。引き続き、個人のお客さまのニーズにお応えする商品提供に努めていきます。



■北海道銀行
2010.3

北海道日本ハムファイターズ 応援キャンペーン実施

北 陸銀行は、富山第一銀行と共同で「とやま中小企業応援ネットワーク」を本店内に開所しました。コーディネーター5人が常駐し、必要に応じて中小企業を支援する各機関や専門家を派遣します。新事業展開、事業再生、事業承継、ものづくり支援などの中小企業の経営課題への対応を目指し、また企業支援などで両行が培ったノウハウと県内合計141カ所の支店網を活かして支援していきます。

■北海道銀行
2010.4

契約社員338名を行員登用

3月6日に行員登用試験を実施し、338名の契約社員が行員となりました。契約社員の中から能力やスキルが十分な人材を行員に登用することによって、多様化する業務に対応すべく自ら積極的に能力開発に取り組み組織風土を今更以上につくりあげていく考えです。金融環境の変化に伴い日々高度化する業務の担い手を引き続き確保・育成していくことで、さらに質の高い金融サービスを提供していきます。



■北陸銀行
2010.4

富山大「ほくぎん若手研究者助成金」制度創設

包 括的連携協力の二環として、富山大学に「ほくぎん若手研究者助成金」制度を創設いたしました。昨年の金沢大学に続くもので、若手研究者への支援を通じ、わが国の学術研究の発展に寄与することを目的としております。今年度は95件の応募があり、富山大学の審査委員会の審査を経て、北陸銀行の選考委員会において8名の方の採択を決定しました。

当社グループは平成10年3月以来、公的資金のご支援を受け、「経営の健全化のための計画」に基づき、収益力の強化を図るとともに、経営の効率化、財務体質の強化に取り組んでまいりました。計画を実行し、経営の健全化に努めることにより、平成21年8月に公的資金の返済を完了することができました。

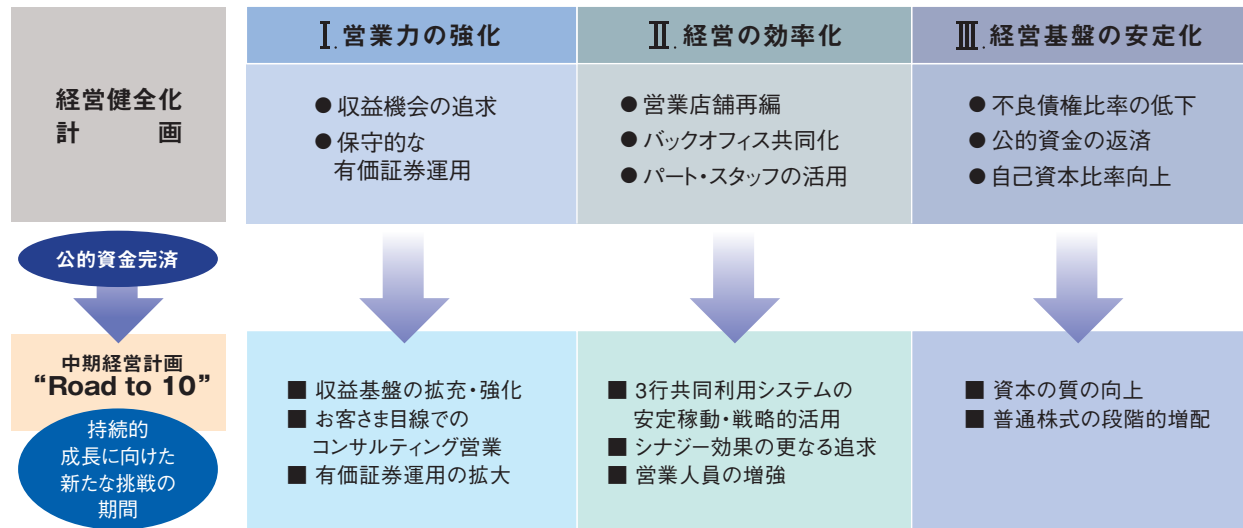
これからの3年間は「持続的成長に向けた新たな挑戦の期間」と位置付け、新しい中期経営計画“Road to 10”に基づき、課題に取り組んでまいります。

従来から取り組んできた経営の3つの柱「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」をさらに進め、公的資金完済後の経営ステージにあわせた施策を展開し、預金量10兆円へ向けての足固めといたします。

■ 計画の概要

名 称	中期経営計画 “Road to 10”
期 間	3年間(2010年4月～2013年3月)
位 置 付 け	持続的成長に向けた新たな挑戦の期間 ～預金量10兆円金融グループへの足固め～
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
取 り 組 む 課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不透明な経済環境に対応できる安定的収益基盤の構築 2. 3行共同利用システム安定稼働・戦略的活用と人員・店舗の営業インフラ整備 3. 新自己資本比率規制、増配、民間優先株償還に向けた剰余金積上げ

■ 計画の基本方針



■ 2013年3月期目標とする計数（2行合算・連結）

総預金平残	9兆5,500億円	OHR	58%
貸出金平残(部直前)	7兆2,000億円	ROA(コア業務純益ベース)	0.68%
コア業務純益	700億円	ROE(連結当期純利益ベース)	6%以上
連結当期純利益	255億円	不良債権比率	3%程度
連結自己資本比率(連結Tier1比率)	11.5%以上(7.5%以上)		

I. 営業力の強化 “トリプルR”の実践により、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指す



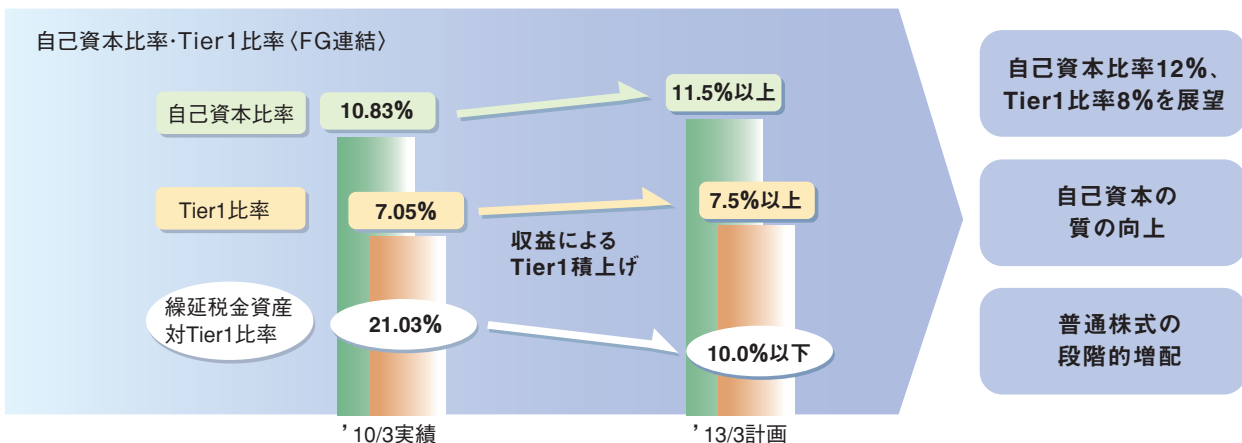
II. 経営の効率化 3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用

'11年5月稼働開始

シナジー効果の加速



III. 経営基盤の安定化 収益の積上げによる資本の質の向上



※本計画には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

—2010年3月期の業績をご報告をいたします—

営業の概況<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

(単位:億円)

	21年度		20年度
		前年度比	
経常収益	2,267	△128	2,396
経常利益	354	+140	213
当期純利益	192	△178	370
自己資本比率	10.83%	+0.02%	10.81%

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前年度比128億円減少し2,267億円、連結経常利益は前年度比140億円増加し354億円、連結当期純利益は前年度比178億円減少し192億円となりました。

営業の概況<北陸銀行・北海道銀行>

(単位:億円)

	2行合算		20年度
	21年度	前年度比	
経常収益	2,074	△111	2,185
コア業務粗利益	1,609	△74	1,683
経費(臨時処理分を除く)	944	+28	915
コア業務純益	664	△103	768
与信費用	255	△100	355
有価証券等関係損益	2	+179	△176
経常利益	368	+155	213
当期純利益	260	△118	379

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益の減少と平成23年に予定する基幹システム更改に向けた経費の増加もあり、前年度比103億円減少の664億円となりました。

経常利益は、与信費用が前年度比100億円減少し、有価証券等関係損益が179億円改善したこともあり、前年度比155億円増加の368億円となりました。

当期純利益は、前年度の法人税等調整額が減少した特殊要因がなくなり260億円となりました。

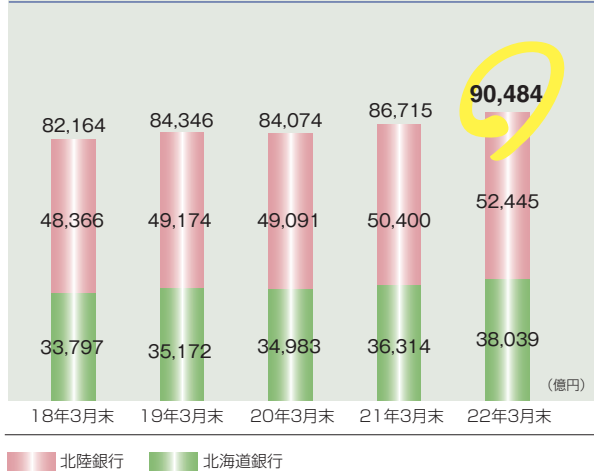
(単位:億円)

	北陸銀行		20年度
	21年度	前年度比	
経常収益	1,137	△105	1,242
コア業務粗利益	901	△46	947
経費(臨時処理分を除く)	518	+4	513
コア業務純益	383	△50	434
与信費用	134	△80	214
経常利益	199	+111	88
当期純利益	156	△107	264
自己資本比率	10.80%	+0.57%	10.23%

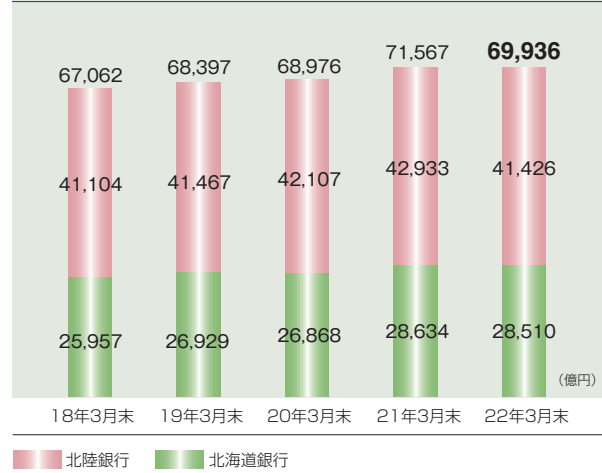
(単位:億円)

	北海道銀行		20年度
	21年度	前年度比	
経常収益	937	△5	943
コア業務粗利益	708	△27	735
経費(臨時処理分を除く)	426	+24	402
コア業務純益	281	△52	333
与信費用	120	△20	140
経常利益	169	+44	125
当期純利益	103	△10	114
自己資本比率	10.19%	△0.26%	10.45%

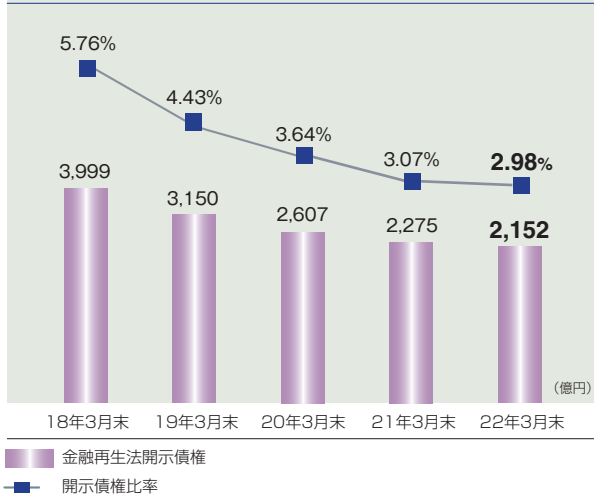
預金 <2行合算>



貸出金 <2行合算十分割子会社>



金融再生法開示債権 <2行合算十分割子会社>

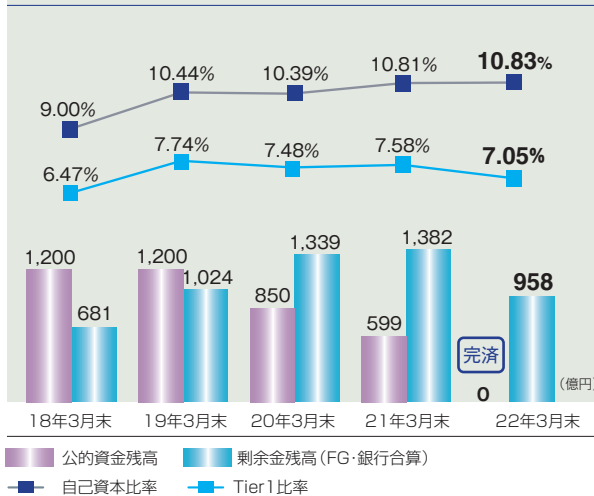


金融再生法開示債権は、前期末比122億円減少し、2,152億円となりました。開示債権比率は、前期末比0.09%低下し、2.98%となりました。

用語の解説

- **金融再生法開示債権**・・・金融再生法（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律）に基づく基準により、公表しています。
- **開示債権比率**・・・総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

自己資本比率 <FG連結>



自己資本比率は、利益の着実な積上げにより、前期末比0.02%上昇し、10.83%となりました。なお、平成21年8月に公的資金を完済しております。

用語の解説

- **自己資本比率**・・・自己資本（資本金や利益の蓄積等）が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。
- **Tier1比率**・・・リスク・アセット（貸出金等の資産）に対するTier1（自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等）の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。



<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

設立日	平成15年9月26日
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
事業目的	傘下子会社の経営管理、ならびにそれに付帯または関連する業務
資本金	708億9,500万円
上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

ほくほくFGのあゆみ

- 2003**
 - 5月 ● 北陸銀行と北海道銀行が経営統合を基本合意
 - 9月 ● 銀行持株会社(商号:(株)ほくぎんフィナンシャルグループ)を設立し、北陸銀行を完全子会社化
- 2004**
 - 9月 ● 北海道銀行を完全子会社化
 - (株)ほくほくフィナンシャルグループに商号変更
 - 札幌証券取引所に上場
- 2009**
 - 8月 ● 公的資金を完済



<http://www.hokugin.co.jp/>

設立	昭和18年7月31日(創業明治10年)
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	1,404億952万円
頭取	高木 繁雄

北陸銀行は、加賀前田家の出資(7割)を受け、明治10年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、今年で創業から133年を迎えました。北陸・北海道を主要営業基盤とし、三大都市圏にも店舗展開する他に類を見ない広域地銀として発展してきました。積極進取の気風で先進業務にも積極的に取り組み、国際業務、証券やEB業務など総合金融業務で地銀トップレベルにあります。地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、皆さまとともに歩み、地域社会とともに成長・発展することを目指してまいります。

グループ企業

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

株式会社北陸銀行

- 北銀ビジネスサービス株式会社(文書管理・事務集中処理業務等)
- Hokuriku International Cayman Limited(金融業務)

株式会社北海道銀行

- 道銀ビジネスサービス株式会社(文書管理・事務集中処理業務等)
- 道銀カード株式会社(クレジットカード業務、信用保証業務)

北銀リース株式会社(リース業務)

株式会社北陸カード(クレジットカード業務)

北陸保証サービス株式会社(信用保証業務)

北銀ソフトウェア株式会社(ソフトウェア業務)

ほくほく債権回収株式会社(サービサー業務)

ほくほくキャピタル株式会社(ベンチャーキャピタル業務)



<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

設立	昭和26年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
資本金	935億2,401万円
頭取	堰八 義博

北海道銀行は、戦後復興期の昭和26年3月5日、北海道における新興産業の勃興と人口の急激な増加に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。こうした設立の経緯から、北海道のお客さまに円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供を行うことを通じ、地域経済の成長に貢献することが、「北海道に根差したどさんこバンク」としての北海道銀行の使命であると考えております。今後も、創業時の精神を忘れず、北海道の皆さまとともに歩んでまいります。

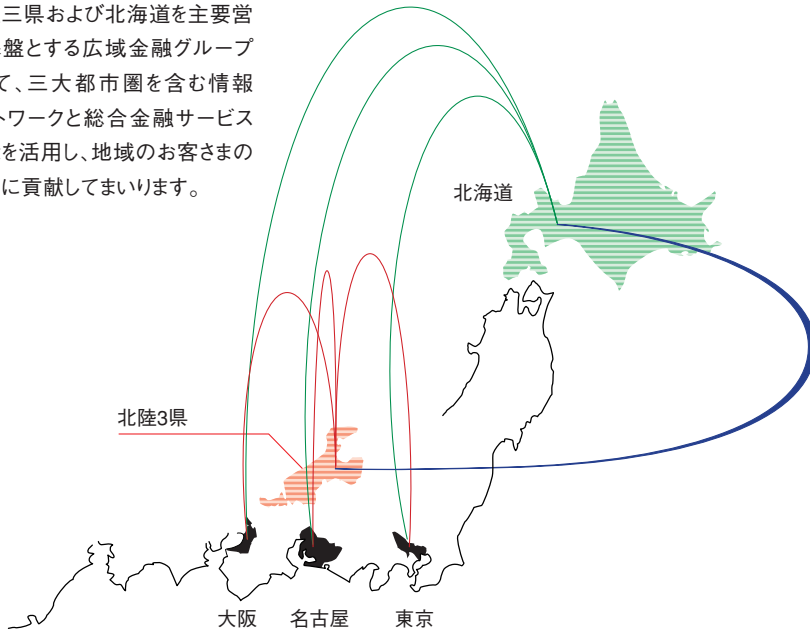
ほくほくFG【店舗ネットワーク】

Hokuhoku Financial Group

平成22年7月末現在

広域地域金融グループの国内ネットワーク

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。



- 北陸3県 141ヵ店
- 富山県 84ヵ店
- 石川県 35ヵ店
- 福井県 22ヵ店
- 北海道 150ヵ店
- その他 4ヵ店
(仙台、新潟、長野、高山)
- 3大都市圏 15ヵ店
- 東京・神奈川 8ヵ店
- 近畿 4ヵ店
- 名古屋 3ヵ店

■ 国内店舗数

北陸銀行 177 北海道銀行 133

310 店舗
(特殊業務店舗除く)

Hokuhoku Financial Group **Network**

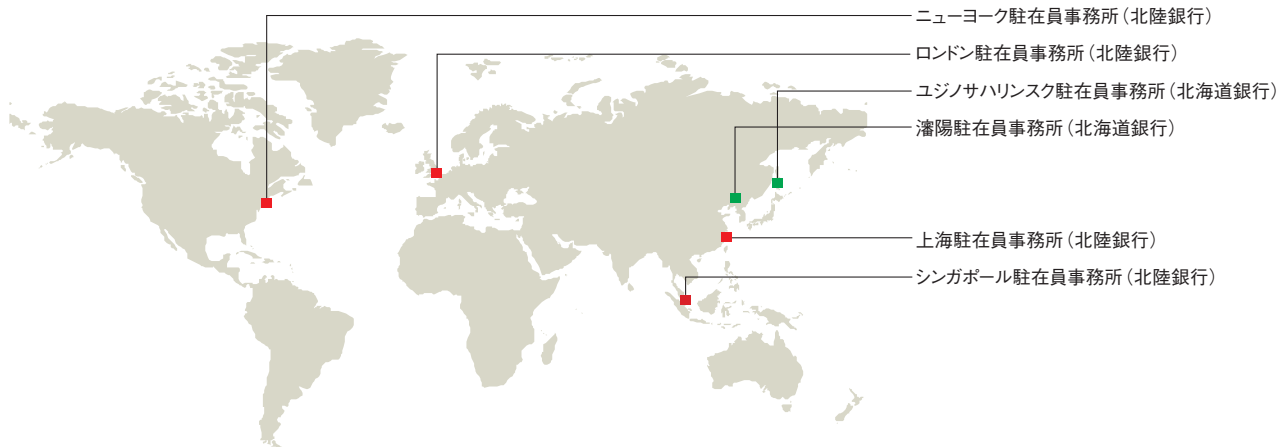
グローバルネットワークで海外進出をバックアップ。

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引企業の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当グループでは海外ネットワークの充実に努めてまいります。

■ 海外駐在員事務所

北陸銀行 4 北海道銀行 2

6 拠点



地域と
あなたのために
もつと。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り1丁目2番26号
Tel:076-423-7331
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ
〒930-8637 富山市堤町通り1丁目2番26号
Tel:076-423-7111
<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室
〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel:011-233-1005
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>